

学術集会日程

2010年5月8日(土) 水上館 谷川ホール

8:00~	受付開始
8:15~8:30	開会の辞・会長講演 会長: 齊藤 繁
8:30~9:15	シンポジウム1 「登山前の健康管理」 座長: 堀井 昌子(財団法人 神奈川県予防医学協会) 「民間の低酸素トレーニング施設と登山者検診ネットワーク医療機関との連携を考える ～より安心して高所旅行へ出発するために～」 安藤 隼人(ミウラ・ドルフィンズ) 「高所ツアー参加者の参加危険度判定の試み」 原田 智紀(「JSMM 登山者検診ネットワーク」パイロットスタディー実行委員会) 「登山者検診ネットワーク3年間の振り返りと今後の課題 <旅行業者の視点から>」 黒川 恵(アルパインツアーサービス株式会社) 「登山・低地での低酸素・運動負荷 SpO2 評価と呼吸機能の登山活動能力予測への意義 ーキリマンジャロ高齢登山経験からの展開ー」 貫和 敏博(東北大学大学院 呼吸器病態学)
9:30~10:15	シンポジウム2 「日本の高所・世界の高所:富士山とチベット」 座長: 浅野 勝己(日本伝統医療科学大学院大学) 「電通富士登山の歴史と運営」 大庭 大(株式会社電通) 「富士山頂高所医学研究拠点設立を目指してーNPO法人 富士山測候所を活用する会の 設立経緯と今後の発展ー」 浅野 勝己(日本伝統医療科学大学院大学) 「高所住民の生活習慣病と老化の変容ー高所適応と生活変化の相互作用ー」 奥宮清人(総合地球環境学研究所)
10:30~11:00	総会・受賞講演
11:00~11:15	国際山岳医認定制度について 上小牧 憲寛
11:30~12:15	Wilderness Medicine in 水上 座長: 山本 正嘉(鹿屋体育大学) 馬場 保男(みなかみ町遭難対策協議会顧問・元谷川岳警備隊長) 横山 巖(宝台樹スキー場) 根岸 道子(有限会社グランボレ) 本間 靖雄(リバーセーフティージャパン)

12:30～13:15	ランチオンセミナー 共催:久光製薬株式会社 座長:小野寺 昇(川崎医療福祉大学 健康体育学科) 「海の環境障害に対する特殊なミッション～ダイバーの命を救え！」 山本 五十年(東海大学医学部救命医学)
13:30～14:15	指名講演 ※ 座長:野口 いづみ(鶴見大学歯学部歯科麻酔学教室) 「在外大使館における高山病症例および研究の報告 ーネパール、ペルー、タンザニア、ボリビアー」 荻原 理江(外務省 福利厚生室)
14:30～15:15	共催セミナーⅠ ※ 共催:第一三共株式会社 座長:大野 秀樹(杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室) 「Wilderness medicine とマラリア」 狩野 繁之(独立行政法人 国立国際医療研究センター研究所)
15:30～16:15	共催セミナーⅡ ※ 共催:日本光電北関東株式会社 座長:小林 俊夫(鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院) 「体温について:基礎と臨床」 松川 隆(山梨大学医学部麻酔科)
16:30～17:10	ポスターディスカッション要旨紹介1 座長:奥宮清人(総合地球環境学研究所)
17:50～18:30	ポスターディスカッション要旨紹介2 座長:花岡正幸(信州大学医学部内科学第一講座)
18:30～	30周年記念懇親会

※各講演終了後、参加証ご希望の方には、受講確認ミニテストを実施致しますので、指定の座席にてお待ち下さい。

<診療所ネット会議>

第2回を以下の要領で行いますので、関係の皆様方をご参加下さい。

場所:7F しゃくなげ

時間:17:30～18:00

司会者:高山 守正

2010年5月9日(日)

2010年度 日本登山医学会 フィールドワーク企画

山岳救助訓練

学術集会2日目の企画として山岳救助に関するフィールドワークを行います。特に山岳遭難の現場から開始する医療処置・重症患者管理のシミュレーションを行います。事前登録者のみ参加可能です。

集合時間：2010年5月9日(日曜日) 午前9時

集合場所：谷川岳ロープウェイ ベースプラザ(山麓駅)6F 特設会場(食堂奥)

9:00-10:00: ヘリコプターレスキューの基本 注意事項の説明と映像供覧

谷川岳ロープウェイ ベースプラザ(山麓駅)6F 特設会場

10:00-11:30: ヘリコプターレスキュー 実演と体験

谷川岳ロープウェイ下(慰霊碑上段)駐車場広場

防災ヘリ内覧 / 空中の防災ヘリへの重症傷病者ならびに医師つり上げ デモンストレーター実演 / 空中の防災ヘリからの医師の現場投入 デモンストレーター実演 / 参加者防災ヘリ搭乗体験(希望者多数の場合は当日事前に抽選を行います)

(注)気象条件や災害出動要請等のためにヘリコプターが飛来できない場合は、特設会場内での災害救助映像供覧に変更となります。

11:30-12:30: ランチオン セミナー

Wilderness First Aid (Slipstream Wilderness First Aid Brooks Hogle)

野外救急法 — 紹介と今後の日本における展望 — (Slipstream Japan 林 由希恵)

(昼食は谷川岳ロープウェイベースプラザ内で使用可能なお食事券をご利用下さい)

12:30-14:00: 山中での傷病者搬送法 実演と体験

谷川岳山岳資料館前広場ならびに西黒尾根末端

搬送用具の調達と使用法 / 1対1の搬送 実演・体験 / 複数人数での搬送 実演・体験 /

岩場での救助法 デモンストレーター実演および希望者体験(希望者のみ時間延長して行います。)

(注)当日警察に出動要請があった場合内容が一部変更となる可能性があります。

装 備：一般縦走装備。雨天でも一部プログラムは行いますので雨具はご持参下さい。

(救助用具やハーネス等をご自身用にお持ちの場合、ご携行頂いても結構です。)

会場までの交通：前夜ご宿泊の方は、水上館から送迎バスにて水上駅までお送り致します。チェックアウト後 午前8時にフロント前にご集合下さい。水上駅からはJR上越線で土合駅に向かい、懐かしの階段を準備体操としてお登り頂きます。土合駅から集合場所までは徒歩 10分程度です。スノーシェルター内を通過される時には交通事故に十分ご注意下さい。尚、水上駅から谷川岳ロープウェイ駅山麓駅まではバスもございます。

水上駅 - 土合間 JR 上越線時刻表 :

行き

駅名	時刻
水上	08:24 発
湯檜曾	08:29 着 08:29 発
土合	08:33 着

帰り

駅名	時刻
土合	15:31 発
湯檜曾	15:38 着 15:38 発
水上	15:43 着

水上駅 - 谷川岳ロープウェイ駅間 関越交通バス時刻表 :

行き

駅名	時刻
水上駅	08:25 発
谷川岳ロープウェイ駅	08:45 着

帰り

駅名	時刻	
谷川岳ロープウェイ駅	15:13 発	16:05 発
水上駅	15:36 着 15:38 発	16:28 着 16:30 発
上毛高原駅	16:03 着	16:55 着

※必要に応じて、水上館～会場までの直行送迎バスを準備する予定です。但し、先着 25 名様までとさせていただきます。尚、水上館宿泊者でご事情のある方に限ります。

訓練時間内の荷物保管：水上館に前夜ご宿泊のお客様はフロントにて出発までお荷物をお預かりできます。また、谷川岳ロープウェイ山麓駅舎にはコインロッカー(有料)もございますが、数が少ないため、本企画にご参加の方は同駅舎内インフォメーションの手荷物預かりをご利用下さい。

その他：救助訓練後ご入浴をご希望の方は水上館でご入浴頂けます。大会受付時にお渡しする日帰りご入浴券をご提示下さい。また、みなかみ町周辺には日帰りで利用可能な温泉施設が多数ありますので、お好みに合わせてご利用下さい。

雨天の場合もプログラムを替えて実施致します。受講証のご希望をお知らせ頂いた方には、フィールドワーク終了時に簡単なミニテストにご回答します。尚、受講証は、同時にお渡しする記述問題を認定委員会にご郵送頂き、その採点結果に添えてご返送することとなりました。

< 実技指導・講義担当 >

- 群馬県山岳連盟救助隊
- 群馬県山岳救助隊
- 群馬県防災航空隊
- 沼田消防本部



谷川岳ロープウェイベースプラザ



一般演題（ポスター）プログラム

ポスターディスカッション1 16:30~17:10

- P1-1 「インド、アルナーチャル・プラデーシュ州ディラン住民の男女の比較」
石本恭子(京都大学大学院医学研究科)
- P1-2 「エチオピア高所住民のメタボリックシンドロームの現状報告」
福富江利子(京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻)
- P1-3 「チベット自治区ラサ在住登山者の高所性頭痛について」
橋本しをり(東京女子医科大学 神経内科)
- P1-4 「日中韓国の三国交流学生登山に参加して-6000m 峰短期登頂の医学的検証-」
野口いづみ(鶴見大学歯学部歯科麻酔学教室)
- P1-5 「谷川岳における健康管理講習」鈴江綾子
(群馬大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科)
- P1-6 「高齢の登山者で見られる情緒不安の背景」
藤枝和夫(明海大学病院保存修復科)
- P1-7 「アンケート調査および体力テストの結果から見た中高年登山者の体力不足の実態」
山本正嘉(鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター)
- P1-8 「秋季低山登山時におけるピークフロー(PEF)値、動脈血酸素飽和度(SpO₂)および主観的呼吸困難感
の変化について-喘息罹患歴の有無による比較検討-
- 高木祐介(川崎医療福祉大学大学院)
- P1-9 「運動誘発性心房細動とカテーテル術後の運動負荷心電図での評価法についての考察」
澤田三紀(静岡県立総合病院循環器内科)
- P1-10 「徳沢アンケートにおける登山者の内服薬」
平田衣里菜(日本大学医学部山岳部)
- P1-11 「中高年登山者の体力」
斉藤篤司(九州大学健康科学センター)
- P1-12 「中高年登山者における富士登山時の生理応答-運動時, 安静時, 睡眠時を対象として-」
笹子悠歩(鹿屋体育大学)
- P1-13 「富士山八合目富士吉田市救護所 21 年度活動報告」
前田宜包(富士吉田市立病院)
- P1-14 「日本大学医学部山岳部学生による徳沢診療所ボランティア医師確保のための医局回りの期間と成果」
原田智紀(日本大学医学部機能形態学)

- P1-15 「日周性疲労は徳沢(標高 1562m)における入山翌朝の経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)を低下させる」
清水翔一(日本大学医学部山岳部)
- P1-16 「歩行技術」
矢崎辰雄(日本勤労者山岳連盟・遭難対策部)
- P1-17 「背荷重負荷歩行における杖の効果」
國見ゆみ子(神奈川県総合リハビリテーションセンター研究部)
- P1-18 「安全な下山技術の確立へ向けて 1. 等速度運動の試み」
粕谷志郎(岐阜大学地域科学部環境講座)
- P1-19 「下り坂歩行での衝撃力に対する傾斜角度の影響」
藤堂庫治(星城大学リハビリテーション学部中京大学大学院体育学研究科)
- P1-20 「ジュニアクライマーのトレーニング, コンディショニング, 傷害に関する実態調査ー選手および指導者を対象としてー」
西谷善子(鹿屋体育大学大学院)
- P1-21 「登山時の生理的負担度を表すダイアグラム作成の試み〜傾斜, 速度, ザック重量, および酸素分圧との関連から〜」
萩原正大(鹿屋体育大学大学院)

ポスターディスカッション2 17:50~18:30

- P2-1 「低圧・低酸素環境が引き起こす酸化ストレスとオリゴノールの抗酸化効果」
長澤純一(電気通信大学 情報理工学部 先進理工学科)
- P2-2 「低酸素環境下における精神状態と高山病症状との相関」
山岸元基(昭和大学医学部北岳診療部)
- P2-3 「高地肺水腫既往者における低酸素負荷時の心機能の検討」
雲登卓瑪(信州大学医学部内科学第一講座)
- P2-4 「高地肺水腫既往者における低酸素負荷時の肺循環調節因子の検討」
小林信光(信州大学内科学第一講座)
- P2-5 「高所滞在中の尿蛋白量の ACE 遺伝子多型との関連ー症例よりの推論ー」
上小牧憲寛(国際医療福祉大学病院)
- P2-6 「高地肺水腫の胸部 CT 所見に関する検討」
小坂充(信州大学医学部内科学第一講座)

- P2-7 「富士山頂短期滞在時の急性高山病に対する鍼灸施術の効用に関する研究」
浅野勝己(日本伝統医療科学大学院大学)
- P2-8 「運動中の脳と筋肉の循環動態に対する急性低酸素暴露の影響」
増田敦子(了徳寺大学健康科学部医学教育センター)
- P2-9 「高所トレーニングと低酸素暴露の生物学的応答」
吉田泰行(千葉徳洲会病院 耳鼻咽喉科・健康管理課)
- P2-10 「低酸素に対する換気感受性と肺動脈応答が低圧低酸素環境下での動脈血酸素飽和度に与える影響」
前川剛輝(日本女子体育大学)
- P2-11 「高度 3,000m における高山病発症時の心循環メカニズム」
鶴見昌史(日本医科大学付属病院循環器内科)
- P2-12 「高地における低酸素環境が健常者心機能に与える影響;富士山山頂での心臓超音波検査及び脳性 Na 利尿ペプチド(BNP)値を用いた検討」
中田淳(榊原記念病院内科)
- P2-13 「岐阜県内で発生した山岳遭難事例の医学的側面からの検討」
加藤義弘(岐阜医療科学大学保健科学部衛生技術学科)
- P2-14 「山岳遭難の意思決定プロセスに着目した要因分析法の研究—トムラウシ山遭難事故に着目して—」
青山千彰(関西大学総合情報学部)
- P2-15 「高所で発症した尿閉に対して点滴用ラインを用いて導尿し治療した一例」
佐藤真司(東邦大学医療センター大森病院消化器内科)
- P2-16 「非常用保温アルミシートを用いた雪洞滞在時の低体温対策」
小野寺昇(川崎医療福祉大学)
- P2-17 「喫煙習慣の有無が大山夏山登山における心拍数および尿中電解質に及ぼす影響」
野瀬由佳(川崎医療福祉大学大学院)
- P2-18 「登山中の安全対策に関する意識調査」
岸本優佳(香川大学医学部医学科)
- P2-19 「雨具の劣化特性と遭難問題への影響」
青山千彰(関西大学総合情報学部)